

(様式1)

令和3年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 001-2	提案機関名 神奈川県つくい農業協同組合
要望問題名 津久井在来大豆の栽培暦について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 ・津久井在来大豆は相模原市を中心に県下でブランド化され認知度・需要も高くなってきている。しかし、栽培暦が古く、平成18年のものが最後である。新しい農薬による防除や他州に向けての施肥基準などが盛り込まれているものが必要である。 ・減収の第一の原因に鳥獣被害(シカ・イノシシ・サル等)がある。この対策についても新しい技術があれば記載したものが欲しい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部野菜作物研究課 企画経営部
対応区分	①実施    ②実施中    ③継続検討    ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	栽培暦については、貴農協と県央地域県政総合センター農政部地域農政推進課で協力して作成を進められていると伺っております。その作成に当たって、近年開発された生産資材、栽培技術及び鳥獣被害対策について情報提供するなど協力させていただきます。		
解決予定年限	①1年以内      ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内		
備考			